

実践研究大会開催にあたって

公益社団法人東京社会福祉士会
会長 後藤 哲男

「社会福祉士の専門性と実践力」をテーマに、公益社団法人として4回目の実践研究大会を開催することになりました。

社会福祉士が誕生してから30余年、社会福祉士の専門性は、社会のなかでどのように認知されてきたでしょうか。私たちの実践は、地域社会のなかでどのような機能や役割を果たしてきたでしょうか。

「地域共生社会」の実現に向けた動きのなかで、「ソーシャルワーク専門職としての社会福祉士」の役割への期待が高まっています。活動領域は、教育、就労、司法などさまざまな分野に拡大しています。社会の変化や多様化するニーズのなかで、私たち社会福祉士が地域社会のなかでより一層の存在意義を確立していくためには、確固たる専門性と実践力に基づいた「ソーシャルワーク機能」を発揮することが求められます。

この実践研究大会では、日々の実践や実践から得た学びを多くの皆さんと共有し、社会福祉士の専門性と実践の意義を問い直し、より良い実践と社会への発信に向けたこれからの活動に活かしていきたいと考えています。

2022年には、東京で第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会を開催いたします。全国大会・社会福祉士学会に向けて、この大会を契機に、さらに実践報告や実践研究を積み重ね、発信を強めていきましょう。

最後になりますが、東京都や港区をはじめ多くの団体から後援や協力をいただくことができました。ありがとうございました。また実行委員やボランティアスタッフの方々のご尽力に感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。